

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)いすゞプラザ | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 藤沢市土柵字土柵 二三九ノ二他15筆の各1部及び一九一ノ三他8筆の各1部 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域 | 平均居住人員 | 200人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 2,400時間/年 |
| 建物用途 | 集会所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2017年4月 予定 | 評価の実施日 | 2015年5月29日 |
| 敷地面積 | 6,609 m ² | 作成者 | (株)坂倉建築研究所 |
| 建築面積 | 3,164 m ² | 確認日 | 2015年5月29日 |
| 延床面積 | 5,872 m ² | 確認者 | (株)坂倉建築研究所 |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参考値: 100%
 建築物の取組み: 90%
 上記+ 以外の: 88%
 上記+: 88%

2-3 大項目の評価 (レダ-チャート)

2-4 中項目の評価 (パーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 企業ミュージアムとしての可変性と自由度の確保のため、大スパンの架構とし、自由なレイアウトが可能な平面計画とした。また将来の展示の更新に対応するために大型の搬入口や大型の荷物用エレベーターを設置しており、フレキシビリティを重視した計画とした。また、太陽光発電設備や、コージェネレーションシステム、LED照明の採用により、エネルギーの消費を抑え、サステナブルな建築を目指した。 | その他 展示室を支える柱をV字柱を採用することにより、耐震ブレースの減量と杭の本数削減をし、躯体に使用する鋼材やコンクリートの減量化により省資源化を計った。 | |
| Q1 室内環境 鑑賞者の快適性のため、展示室の遮音性に配慮し、外壁と屋根をコンクリート造とし、サッシをT-2等級とする。 | Q2 サービス性能 建築基準法で定められた25%増の耐震性を持たせる計画とする。防汚性や耐候性の高い建材を使用し、維持管理に配慮した。 | Q3 室外環境 (敷地内) 既存桜の大木を保存することで景観の歴史を継承し、利用者の憩いの場としての緑地広場を設ける。東西方向に敷地内自由通路を計画し地域住民の利便性に配慮した。 |
| LR1 エネルギー コージェネレーションシステムを採用し発電による排熱を空調に利用し、消費エネルギーの効率化を計った。CO ₂ 濃度センサーにより在館人数に合わせて換気量を自動制御し、換気による熱負荷の抑制を計った。 | LR2 資源・マテリアル ほぼすべての仕上げ材に乾式工法を採用し躯体と仕上げが用意に分別できるようにした。再利用可能なユニット部材や、リサイクル材料を多数採用し、ライフサイクルにおいて省資源化を計った。 | LR3 敷地外環境 利用者の公共交通の利用促進のため、最寄り駅より無料の送迎バスの運行を予定している。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい